

第23回

ふるさとイベント大賞

各賞決定!

大賞

内閣総理大臣賞

与那原大綱曳まつり

【開催地】
沖縄県与那原町
与那原町御殿山(うどうんやま) 青少年広場

【開催日】
平成29年8月19日(土)
~20日(日)

イベントの概要

440年余りの伝統を誇る神事で、東西合わせて5トン90メートルの大綱の上に支度に乗って練り歩くさまは、龍が天に舞い上がるような荘厳な雰囲気があります。大綱がたたき落されて綱曳が始まる迫力は多くの観客を魅了します。

最優秀賞 乙亥大相撲



【開催地】愛媛県西予市 乙亥会館
【開催日】平成29年11月28日(火)~29日(水)
嘉永5年に起きた大火災を封じるため願相撲を奉納したのが始まりです。167年間続けてきた先人たちの想いを受け継ぎ、毎年開催しており、7月の西日本豪雨で街は甚大な被害に遭いましたが、地域住民で新たな土俵を作るなど地元に着目したイベントとなっています。

優秀賞 撮りフェス in 室蘭2017



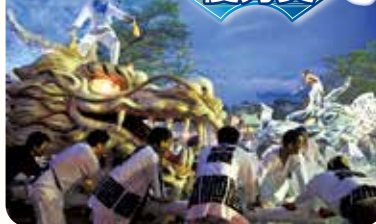
【開催地】北海道室蘭市 室蘭市全域
【開催日】平成29年9月16日(土)~17日(日)
室蘭の観光資源の原点でもある「景観」の価値に着目し、室蘭の町を24時間という制限時間内に自由に散策しながら、町が持つ被写体としての魅力を写真に収めていく滞在型フォトコンテストです。

優秀賞 2018 小出雪まつり



【開催地】新潟県魚沼市
響きの森公園雪のコロシムほか
【開催日】平成30年2月4日(日)
イベントの中心である小出国際雪合戦(2019大会より「魚沼国際雪合戦」に名称変更)では、全国から集まった選手たちが5人1組で競い合います。雪合戦を楽しむことを最優先とし、コスチュームやパフォーマンスでも競うため、会場は声援と笑顔で熱く盛り上がります。

優秀賞 きくち夏まつり 菊池白龍



【開催地】熊本県菊池市
菊池市民広場一帯
【開催日】平成29年8月5日(土)
きくち夏まつりの象徴である菊池白龍は、幸せを呼ぶとされる吉兆龍で、地元数々の伝説があります。全長50m・総重量500kgにもなる巨大龍を1体につき80人で担ぎ上げ、地元商店街周辺を練り歩きます。



ザ! 雑巾ダッシュ!!
2017 in みつえ

【開催地】奈良県御杖村 みつえ体験交流館
【開催日】平成29年10月9日(月・祝)

長い廊下を活用した雑巾がけ大会で、会場は木造の廃校舎をリノベーションした昔ながらの姿を残す体験型交流施設を使用します。子どもは「木造小学校の雰囲気を感じながら」、大人は「昔を思い出しながら」楽しく参加できるイベントです。



ふるさとキラリ賞
鞆の津 八朔の馬出し

【開催地】広島県福山市
福山市鞆町全域
【開催日】平成29年9月3日(日)
子どもの誕生を祝い、白い馬の模型を作り、車輪のついた台に乗せ、町中を引きまわす珍しい行事です。子どもの健やかな成長を祈り、鞆の浦の風情あるまちなかを「八朔の馬」の行列がゆっくりと進みます。



選考委員特別賞
じないまち四季物語

【開催地】大阪府富田林市
富田林寺内町及びその周辺
【開催日】平成29年8月26日(土)、10月14日(土)、平成30年1月13日(土)、3月10日(土)、3月11日(日)

江戸時代からのまちなみを残す富田林寺内町には、古民家を利用した雑貨屋や飲食店などが増え、過去と現代のものが調和して地域の新たな魅力となっています。その魅力的なまちなみを、四季にまつわるイベントにより発信しています。

主催: 一般財団法人 地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

※注: 開催日は今回の表彰対象となった日を掲載しています。

ひとの想いがイベントを創る

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

今年で23回目を迎え、第22回までに、162の個性豊かなイベントを表彰しています。

今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流による地域の活性化を目指しています。

主催：一般財団法人地域活性化センター

後援：総務省、内閣府、全国知事会、全国都道府県議会議員会、全国市長会、全国市議会議員会、全国町村会、全国町村議会議員会、地域づくり団体全国協議会、日本商工会議所、全国商工会連合会、NHK、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

応募対象イベント

平成29年7月1日から平成30年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベント。

ただし、以下のいずれかに該当するイベントは対象外とします。

- ・直近の5回（第18回～第22回）に大賞及び最優秀賞等各賞を受賞したイベント
- ・継続性がなく1回の開催のみで終了するイベント

選考過程

イベント主催団体から、市区町村等を通じ、都道府県へ応募書類を提出していただきました。今回の応募総数は144件でした。

応募されたイベントについては、イベントプロデューサーや学識経験者等により構成される「第23回ふるさとイベント大賞選考委員会」において、厳正な審査を行い、受賞イベントを決定しました。

なお、選考にあたり、右記の選考基準を基にイベント内容を総合的に判断しました。

選考基準

評価のポイント	
企画	●地域資源を積極的に活用している。（地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など） ●独創性に溢れ、新たな地域の魅力を創り出している。 ●多くの人を惹きつける魅力がある。 ●魅力を増すための創意工夫が顕著である。
効果	●地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。（低予算でも波及効果が大きいなど） ●地域の知名度アップに貢献している。 ●地域住民の郷土意識の高揚に繋がっている。 ●伝統文化の継承や新しい文化の創造に繋がっている。
運営	●地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている。） ●地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。 ●継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。

選考委員紹介



選考委員長
北川 フラム

アートディレクター
（株）アートフロントギャラリー
代表取締役

撮影：山本マオ

今回の受賞イベントについては、それぞれの地域でその地域の魅力を出そうと、皆さん熱意をもっていろいろ工夫していることに感銘を受けました。

さらに、その場所の特徴に的確に合わせ、歴史や記憶なりに由来しているイベントが多いことが特色です。

今、地域が持つ土地の特質、歴史、生活、食事を組み合わせ、参加度の高さによって誇りをもてるようなイベントが力をもってきていることを嬉しく思います。



内原 智史

ライティングデザイナー
（有）内原智史デザイン事務所
代表取締役



楓 千里

（株）JTBパブリッシング
顧問



角田 光代

作家

撮影：三原久明



吉本 光宏

（株）ニッセイ基礎研究所
研究理事



安川 尚宏

NHK制作局制作主幹



古尾谷 光男

全国知事会事務総長



佐々木 浩

総務省大臣官房
地域力創造審議官



椎川 忍

一般財団法人
地域活性化センター
理事長

お問い合わせ 一般財団法人地域活性化センター 地域創生課 TEL 03-5202-6136 FAX 03-5202-0755 E-mail: event@jcrd.jp